

# 勝山市立幼稚園のあり方について

(答 申)

令和4年12月2日

勝山市立幼稚園のあり方検討委員会

## 1 はじめに

勝山市立幼稚園のあり方検討委員会は、令和4年6月16日に勝山市教育長より「勝山市立幼稚園のあり方について」の諮問を受けた。

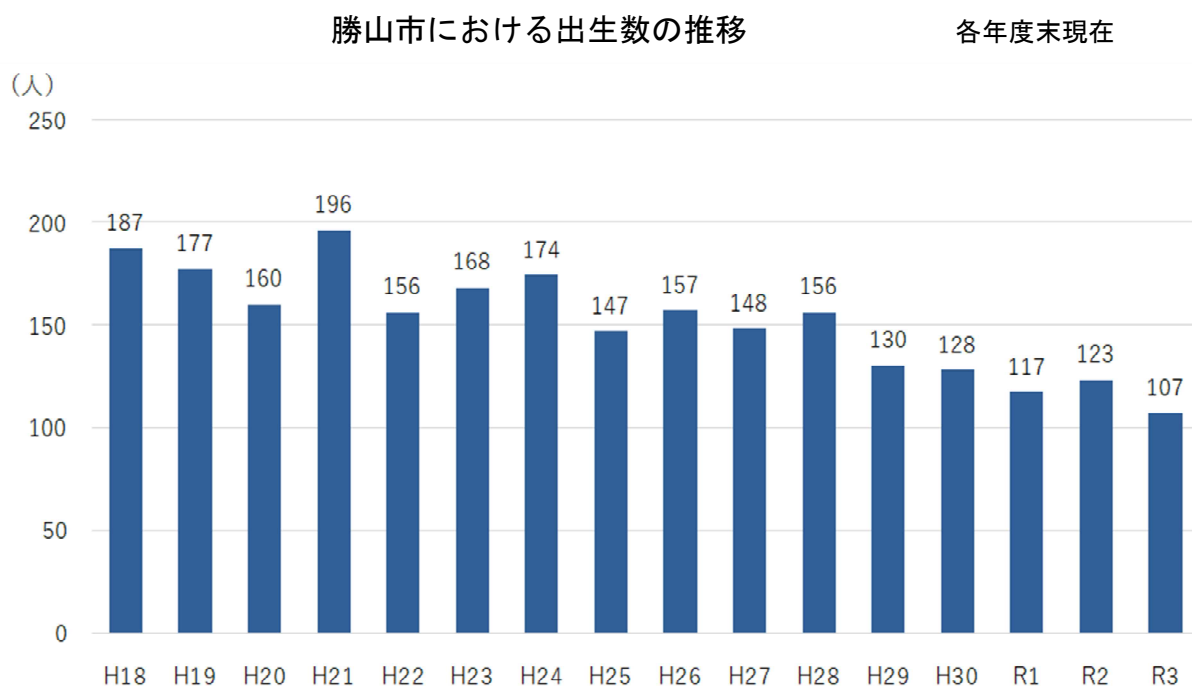
本委員会では、急速に進行する勝山市の少子化の現状を鑑み、また市唯一の公立幼稚園である成器南幼稚園の園児数が令和4年度において13人まで減少したことをうけ、今後の市立幼稚園のあり方、および保育園・認定こども園も含めた今後の勝山市全体の幼児教育についても様々な角度から協議・検討を行った。

今般、その検討結果を「勝山市立幼稚園のあり方について」として答申する。

## 2 今後の市立幼稚園のあり方に関する検討内容

### (1) 勝山市の出生数の推移について

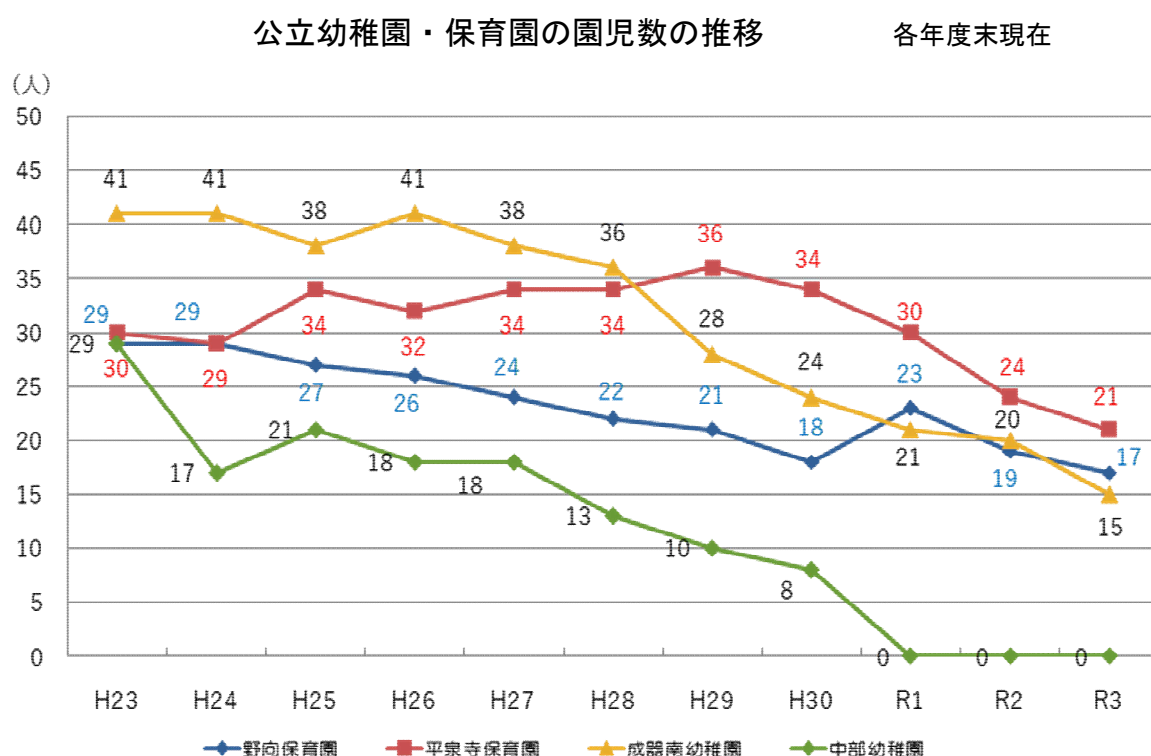
勝山市における出生数は、近年、減少傾向で推移しており、10年前の平成24年度には174人であった出生数が、令和3年度は107人となり、令和4年度も100人程度と予想される。この傾向は、今後も進むことが見込まれ、今後100人を下回る恐れがあると考えられる。



## (2) 勝山市立成器南幼稚園の園児数の推移と見通しについて

平成29年度に勝山中部幼稚園の園児数が10名まで減少したことにより、同年度10月に「勝山市立幼稚園のあり方検討委員会」を設置し、現状のまま市立幼稚園を維持・継続していくことが適切かどうか見極める必要があるとの観点から、検討・協議を進めた結果、成器南幼稚園と勝山中部幼稚園を1園に統合すべきという答申を受けた。このことを踏まえ、平成30年9月に「勝山市幼稚園統合計画」を策定し、平成31年度から勝山中部幼稚園と成器南幼稚園を統合し、市立幼稚園は成器南幼稚園1園となった。

成器南幼稚園の園児数は、その後も減少が続き、令和3年度には15人、令和4年度には13人まで減少している。



一方で、市内の私立保育園においては、これまで7園が認定こども園に移行しており、1号認定児は、令和4年度7月1日現在では、7園合計で18人と少ないものの、3歳児以上の2号認定の園児と一緒に教育・保育を進めている。また、勝山市の幼稚園・保育園・認定こども園に通う3歳以上の園児数の合計は427人で、そのうち1号認定児は31人で全体の7.3%、さらに31人のうち13人が成器南幼稚園児で全体の3.0%という状況である。このように、3歳以上の園児の92.7%が、2号認定児として保育園・認定こども園に通っていることは、市内において共働き世帯が多いことが主な要因として考えられ、保護者のニーズを踏まえると、今後も幼稚園の入園者数が増加に転じることは難しい状況である。

## 勝山市公立私立園児数

令和4年7月1日現在

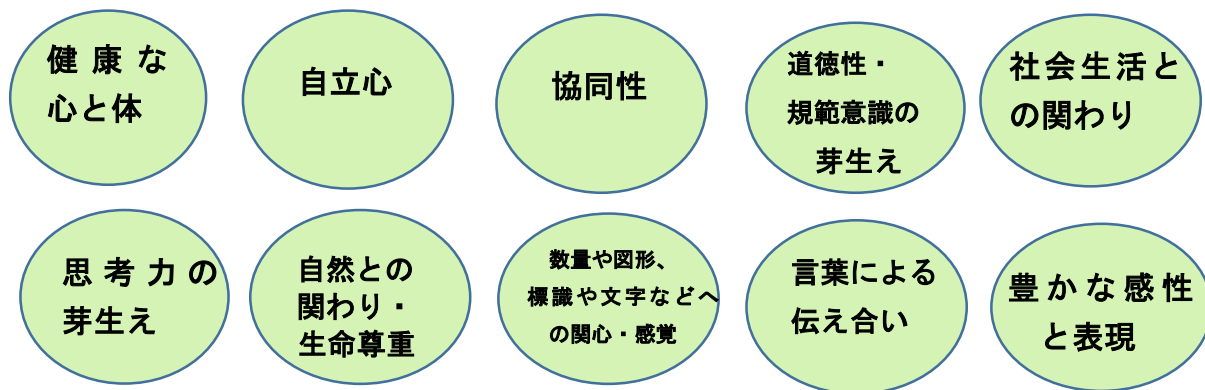
3号認定（0～2歳でご家族が就労・妊娠出産・病気・障害などのため保育を必要とする場合）	242名
2号認定（3～5歳で、ご家族が就労・妊娠出産・病気・障害などのため保育を必要とする場合）	396名
1号認定（3～5歳で、ご家庭にお子さんの面倒をみることができる方がいらっしゃる場合）	31名
<b>勝山市内全園児合計</b>	<b>669名</b>

年 齢		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	各園合計	
公立	勝山市立保育園	3号	2	7	4			13	35	
		2号				6	4	12		22
	勝山市立幼稚園	1号				3	4	6	13	
私立	私立保育園	3号	3	17	18			38	108	
		2号				14	34	22		70
	私立こども園	3号	23	84	84				191	513
		2号				105	94	105	304	
		1号			2	4	3	9	18	
年齢ごとの合計			28	108	108	132	139	154	669	669

### （3）望ましい幼児教育のあり方について

幼稚園、保育園、認定こども園においては、それぞれ国が示している「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づいて教育・保育を行っている。これらの要領・指針は、平成30年度から施行されており、3歳以上の教育・保育については、「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」、「表現」の5領域が示され、そのねらい及び内容は同じである。また、この5領域のねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を「10の姿」として示している。

#### 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



また、幼児教育の専門家である本委員会の会長が成器南幼稚園の視察を行い、専門的見地からの意見が報告された。

- 子どもの主体性を大切にして、子どもの思いを十分に引き出しながら子どものやりたいことを実現し、幼児教育の基本を踏まえた活動をしている。
- 一方で、いろいろな友だちとかかわり、子どもたち同士で幅広いたくさんの意見を出し合っって切磋琢磨したり、チームに分かれて作戦をたてたりなど、多様な集団の中で育つ協同性や社会性などの非認知的な能力の育成の面から考えると、少人数では難しい面がある。

幼稚園における幼児教育について、適正規模の人数は法令等に規準は定められていないが、幼稚園教育要領においては、指導計画の作成上の留意事項の中に、「幼児の行う活動は、個人、グループ、学級全体など、多様に展開されるものであることを踏まえ」との記載があり、一定の集団の大きさを想定している。

本委員会においても、少人数だときめの細かい教育を進めることができる一方で、社会性や協同性、人間関係などを育むという面から考えると、多くの人と関わりいろいろな経験をすることが大切であるとの意見や、少ない人数では人間関係が固定すると過ごしにくい面が生じる恐れがあり、また、多過ぎてもトラブルが発生しやすいので、1学年あたり2・3グループができる10人～12人が理想的ではないかという意見が出されている。

#### **(4) 成器南幼稚園父母の会との意見交換について**

今後の市立幼稚園のあり方を検討するにあたり、勝山市立成器南幼稚園に通う園児の保護者を対象に、これまでの検討委員会での検討・協議内容について説明し、意見交換を行った。保護者からの主な意見は、以下のとおりである。

- 幼稚園の教育内容やきめ細かい先生方の対応に満足している。
- 幼稚園は戸外活動を中心に身体を動かす活動が多いため、規則正しい生活に結びついている。
- 全国的に少子化であることを鑑み、成器南幼稚園は小規模園のモデルとして運営を続けてほしい。
- 次年度入園希望者がいる。その保護者の思いも受け止めてほしい。
- 勝山市として、企業誘致等を行うことで人口を増加させ少子化問題を解決してもらいたい。

### **(5) 勝山市における幼児教育の方向性について**

勝山市は、これまで公立幼稚園は教育委員会、公立保育園及び私立保育園・認定こども園については市長部局が所管してきた。

今後、少子化が進む中で、勝山市の幼児教育をより充実していくために、保育園や認定こども園についても教育委員会が積極的に関わって指導助言を行い、小学校への円滑な接続に向けてより一層取り組んでいくことが重要である。そのため、教育委員会と市長部局が連携を深めるなど市内のすべての子どもに、より質の高い教育や環境を提供する体制を構築することが必要である。

## **3 まとめ**

以上の内容を踏まえつつ、本委員会において、今後の勝山市立幼稚園のあり方を協議・検討した結果は以下のとおりである。

- (1) 勝山市の出生数の推移や、今後も幼稚園の入園者数が増加に転じることは難しい状況であること、また、幼児教育の望ましいあり方を鑑み、今後、市立幼稚園を廃園とすることはやむを得ないと考える。  
ただし、廃園の時期については、在園児並びに今後入園希望の保護者の意見を考慮して決定していただきたい。
- (2) 今後の勝山市の幼児教育を進めるにあたり、市内すべての子どもに、より質の高い幼児教育や子育て支援の環境を提供するため、教育委員会と市長部局が連携して一体的に取り組むなど、新しい体制を構築していただきたい。

## 勝山市立幼稚園のあり方検討委員会 委員名簿

役 職	所属団体・役職名	氏 名
会 長	仁愛女子短期大学教授	松川 恵子
副会長	勝山市民生委員児童委員協議会代表	鳥山 淳夫
委 員	勝山市区長連合会代表	竹内 和徳
委 員	勝山市総合行政審議会代表	川端 裕子
委 員	勝山市社会教育委員の会会長	山岸登美子
委 員	かつやまっ子応援ネットワーク・遅羽地区会長	酒井 雅信
委 員	勝山市立成器南幼稚園父母の会会長	尾田 崇幸
委 員	私立保育園園長会代表	廣田 啓子
委 員	勝山市小学校校長会会長	斎藤 雅代

## 勝山市立幼稚園のあり方検討委員会 検討の経過

第1回	6月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱書の交付</li> <li>・勝山市における少子化の現状について説明</li> <li>・委員による意見交換</li> </ul>
第2回	8月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、認定こども園、保育園の教育内容等を踏まえ、様々な立場からの意見交換</li> </ul>
視 察	9月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成器南幼稚園の現状視察</li> </ul>
第3回	10月 4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成器南幼稚園の視察状況の報告を踏まえ、適正規模の人数等について協議</li> </ul>
語る会	10月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの検討委員会の検討内容報告</li> <li>・保護者との意見交換</li> </ul>
第4回	10月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成器南幼稚園父母の会と語る会の報告</li> <li>・今後の幼稚園の方向性・答申について協議</li> </ul>
第5回	11月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園あり方検討委員会と合同で開催し、これまでの協議内容及び方向性の報告</li> </ul>
第6回	11月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答申内容の検討</li> </ul>
答申	12月 2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山市教育長に答申</li> </ul>